

■山崎高等学校「第 15 回ユネスコスクール全国大会参加報告」

1月20日(土)、国立オリンピック記念青少年総合センターで第15回ユネスコスクール全国大会が開催されました。冒頭に文部科学大臣からのビデオメッセージも紹介され、注目度の高さを再認識しました。生徒も多数参加し、生徒自らプレゼンを行う学校もありました。

午前中のメインイベントであるパネルディスカッションでは、本校の阪田紫帆里教諭が全国のユネスコスクール高校教員代表として参加し、地域探究の実践報告や課題、今後の展望などについて壇上でディスカッションし、本校の地域探究の実践を全国の方々に知っていただく良い機会となりました。

ポスターセッションでは、特に中学校や高校の先生方から「組織作り」に関する悩みや方策について質問があり、多くの学校と課題を共有し、相互に実践的なアドバイスを行い、大変有意義な時間となりました。午後の分科会では、ESDやユネスコスクールの取組は「よさ・課題・可能性」を常に念頭に置いて考える必要があること、良い実践は「上級学校との親和性」「地域との繋がり」が非常に重要なポイントであるという講話がありました。

また、他県の先生方や近隣大学と国内ネットワークについても話題が広がりました。 今後の発展的な取組について情報発信していきたいと思います。



全国の高校代表の 阪田紫帆里教諭



1分間PR 山下主幹教諭

配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

【令和5年度GoodNews】【令和4年度特集号】【令和4年度GoodNews】【令和3年度GoodNews】